

吉林省檔案館
廣西師範大學出版社
編

日本關東憲兵隊報告集（第三輯）
12

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

绥芬河地方检阅部通信检阅月报(昭和十六年十二月三日)	〇〇一
*绥芬河地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年七月四日)	〇一五
绥芬河地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年七月三十一日)	〇三一
绥芬河地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年二月一日)	〇四七
绥芬河地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年三月一日)	〇六九
绥芬河地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年七月二日)	〇九三
绥芬河地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年九月三日)	一一六
绥芬河地方检阅部通信检阅月报(无年代四月)	一三八
绥芬河地方检阅部通信检阅月报(无年月)	一四四
绥芬河地方检阅部通信检阅月报(无年月)	一四九
绥芬河地方检阅部通信检阅月报(昭和十四年十一月)	一五三
*安东地方检阅部通信检阅月报(昭和十五年三月)	一六〇

安东地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年十月)		一七五
* 安东地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年二月)		一九四
附残页		二一二
* 安东地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年三月)		二一三
安东地方检阅部通信检阅月报(无年代五月)		二五三
安东地方检阅部通信检阅月报(无年九月)		二八〇
* 安东地方检阅部通信检阅月报(无年月)		三一六
安东地方检阅部通信检阅月报(无年月)		三四五
安东地方检阅部通信检阅月报(昭和十四年十一月九日)		三五〇

檢第一九號

通信檢閱月報提出ニ関スル件報告

昭和六年十月三日

綏芬河地方檢閱部長岡本義

通信檢閱部長原守殿

一月十月二十六日中檢第七五號ニ基ク



言報迄

下之等有害通

防通ニ重要

出ニ努メタリテ本期間ニ於ケル所

如シ

上有害通信

害通信

2. 軍紀

3. 其他

合 歸國

セントシテ偽電ヲ依頼セルモノ

一 牛

三

二郵便検閲

十五件（軍人軍属、地方郵政局利用、
件ヲ含む）ニシテ前期ノ處置件数一四件ニ比
シ九件ノ減少ヲ見タルハ欣マレキ現象ナルヲ
示タ軍人軍属ニシテ地方郵政局利用ノ跡ヲ
タサルハ防諜上嚴ニ注意ヲ要スル所ナリ

一郵便検閲實施成果表



進展

防諜上有害通信

合 隊員(日人)

一件

三 紀上有害通信

軍人軍屬、地、郵政局利用

三件

● 其他

滿欽訓練所生徒

一件

二 電報檢閱

電報檢閱實施成果

如

女子ノ名義ヲハテ地方郵政局ヲ利用シテ
ハ甚タ寒心ニ至ル而シテ斯ノ種通信ノ
紀上並防諜上厚スヘキ點勘カラサルニ以
テ將來時ニ注意ニ要スル處ナリ

本年八月以降ノ通信檢閲成果ヨリ有害通
發信者ニ就キ統計的ニ觀察セハ同一人
發信スルモノ多キ實情ニ鑑ミ之等ノ發信文

ニ對シテハ注意ノ
表

一、特局

頭本線

[illegible]

複檢曉諭成果表

昭和十六年一月三十一日
 陸軍省河原田兵衛

國 區 介	取扱件数		處置件数		
	發信	受信	計	扣收 期除 其他	計
支那	一六	二六	五二	三	三
南洋羣島	九〇五	七三二	一六三七		
緬甸	一四二	一五九	三〇一		
暹羅	一七八	一六七	三四五		
其他					
合計	五四二	三七一	九一八	四	五

軍人軍屬受信

共

初二

第二

臺灣鐵路實施成果表

昭和十六年十一月三十日
總務部河憲兵全取

臺灣鐵路		區分		取 收 件 數		處 道 件 數	
發信	受信	發信	受信	計	押收	前除其他	計
二一三一	一三〇六	四一六	三八五三	一			
五〇	三七		八七				
五五	四四		九九				
五	三八	一	三四				
二	二		四				
其他							
二二四三	二四一七	四一六	四〇六				

四〇六

便
氏
氏

兵 狀 況 ヲ 報 スル モ ノ		期 月	發 信 者	受 信 者	通 信 内 容	處 置
一三三。			總 本 河 同 境 外 察 隊	石 川 縣 金 沢 市 助 九 初 町 一 番 地	今 年 一 月 庚 子 紀 三 一 天 動 震 有 り 三 一 天 兵 隊 二 人 月 至 一 月 此 の 蘇 滿 州 境 外 派 遣 一 月 有 り ます 一 時 日 報 常 々 喧 一 二 公 以 一 大 蓋 二 三 公 以 一 大 蓋 一 二 公 以 一 大 蓋 一 二 公 以 一 大 蓋 一 二 公 以 一 大 蓋	上 二
僧 井 榮 二 越 田 豊 助						

北海郡海
辺村大字
大浜
今でも班内へ歸れど毎日二三年
兵士ス／＼學校を出てゐる奴等か
ら段々又医務室より又其の通りより
あまりの口惜しさあまりの情無さ身
も何れか忘れて段々返さうとするもの
度々です又便所や床中にて男
別除

通 信 内 容
ルモノ
二

終
河
北海郡海
辺村大字
大浜
今でも班内へ歸れど毎日二三年
兵士ス／＼學校を出てゐる奴等か
ら段々又医務室より又其の通りより
あまりの口惜しさあまりの情無さ身
も何れか忘れて段々返さうとするもの
度々です又便所や床中にて男
別除

卷八

泣く子か度々やすが抵抗してゐる目です
只々兄さんや母さんの子ばかり思ひ出さ
て口惜し涙で一杯やすさうして軍人にな
つたかの運人は馬鹿らしいと毎日思ひ
をります

三
終芬河

嵐武志

新潟縣北原
原郡京瀬
村大字城
木根洲嘉

将校苗番となると金と地方人同様な生
活が出来て軍隊生活がおかしくなつて来
ます。現在日六ヶ月と言ふ樂し、将校苗
番を辞して又合入る中隊に歸へり初
年兵さん達か
す何とて同然

を取つてをりま
う々遠慮するの

初年兵

上載記
項部
除

所	発信者	受信者	通 信 内 容	處置
			八月 初旬頃 班長殿より下士官候補の託あり わが下士官考へをとりあひまゐりて返す をうゐるが大友隊の候補者少くや命令 で下士官候補をせよと言ひ傳へられ 願ふ候補者として勉強はしてゐるが心の中 では早く歸りたいと言ふ希望一杯ですので	

候補ヲ嫌忌ムルモノ

隊員面白い
も思ひ下又改う
えつてをりませへー

芬河

八分縣

博三

大野郡

河田

五川

お父さんか第三二部隊大友

農耕准尉殿(人書係)と大友係

吉大尉殿(中隊長)へ家内状態と本

人々希望して家内為り取消を希

と書状を一日も早く出して下さ

學校(旅順)行きは永年り二月頃

なるべく早く右の件を頼みます

此より日秘密に望みます

尚本人戦友興田定孝上等兵ノ寫真

一葉同封シアリ

セントシテ偽電ヲ依頼セル

受信者

通

必

處